

# 感染症についてのお知らせ

墨田区保健所 保健予防課 感染症係 区役所 3階  
電話 03-5608-6191(直通) FAX 03-5608-6507

令和6年  
4月号



## 東京都内の感染症流行情報

第14週（4月1日～4月7日）の定点当たり報告数

### ・インフルエンザ

東京都 4.17人/週 前週（9.40人/週）  
墨田区 3.88人/週 前週（7.63人/週）

### ・新型コロナウイルス感染症

東京都 2.74人/週 前週（3.48人/週）  
墨田区 3.38人/週 前週（6.25人/週）

### ・感染性胃腸炎

東京都 3.84人/週 前週（4.23人/週）  
墨田区 0.80人/週 前週（1.00人/週）

令和6年4月12日時点  
インフルエンザ



墨田区内保育園・学校の感染状況  
感染性胃腸炎



色が濃いほど患者が多いことを示しています。

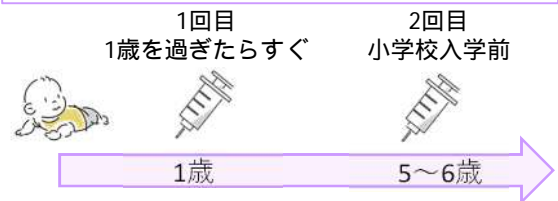
地図引用元：学校等欠席者・感染症情報システム

## ▼おたふくかぜ任意予防接種費用の一部助成が始まりました

令和6年4月1日より、おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）ワクチンの接種費用の一部助成を開始します。助成額は1回あたり3000円（1人あたり最大2回まで）となっています。

おたふくかぜワクチンは任意接種のワクチンで、通常、  
1歳を過ぎたら早期に接種  
小学校入学前の1年間に接種  
MR（麻疹風疹）ワクチン2回目接種と同時期  
の2回接種となります。  
1回目の接種を自費で接種されている場合でも、  
この制度を利用して2回目の接種をすることが可能です。

おたふくワクチンの一般的なスケジュール



なお、助成を受けるには、区が発行する予診票が必要となります。  
接種を希望される場合は、必ず手元に予診票をお取り寄せの上、  
接種してください。

予診票はお子様の年代に応じて、区から郵送される場合と  
ご自身でお取り寄せが必要な場合があります。

- (1)これから生後12か月を迎える子  
対象となる方へ、1歳の誕生月に区から予診票を郵送します。
- (2)平成30年4月2日より平成31年4月1日の間に生まれた子  
対象となる方へ、4月下旬を目途に発送します。
- (3)対象者のうち、上記以外に当てはまる子  
接種を希望される方は、ご申請が必要です。  
詳しくは墨田区HP（右記QRコード）をご覧ください。

詳しい情報は  
こちらからご覧ください。



墨田区HP  
「おたふくかぜ任意予防接種費用の一部助成を開始します。」

## おたふくかぜとは？

おたふくかぜ（流行性耳下腺炎あるいはムンプス）とはムンプスウイルスの感染による  
全身性感染症です。

飛沫・接触による感染後、ウイルスは全身に広がり各臓器に病変を起こします。  
主な症状は発熱と唾液腺（耳下腺・顎下腺・舌下腺）の腫脹・疼痛です。


合併症には難聴、脳炎、精巣炎、卵巣炎、無菌性髄膜炎などがあります。  
これらの重篤な合併症を防ぐために、おたふくかぜワクチンの接種をしましょう。



## その他の定期予防接種も忘れずに

**墨田区 子どもの定期予防接種**

- ・ヒブ (Hib)
- ・小児用肺炎球菌
- ・B型肝炎
- ・ロタ
- ・4種混合
- ・BCG
- ・MR (麻しん・風しん混合)
- ・水痘 (水ぼうそう)
- ・日本脳炎
- ・子宮頸がん (HPV)



◆かんたん&べんり予防接種ナビ  
お子様に合わせた接種スケジュールを  
作成できます！



👉登録方法などの詳細は  
QRコードからご覧ください

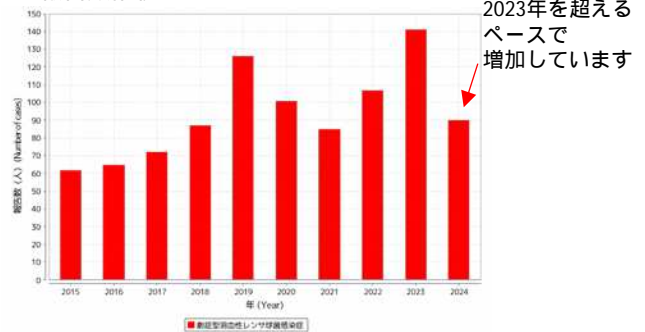
## 劇症型レンサ球菌感染症 (STSS、通称 人食いバクテリア) が増加しています

劇症型レンサ球菌感染症が過去最多だった昨年を上回るペースで増加しています。劇症型レンサ球菌感染症はまれな感染症ですが、致死率が高く、急激な経過をたどるため、「人食いバクテリア」などとも呼ばれています。

### 劇症型連鎖球菌感染症とは？

劇症型連鎖球菌感染症はレンサ球菌による感染症です。通常はレンサ球菌に感染しても、咽頭炎や皮膚の感染症にとどまることがほとんどです。しかし、普通ならば菌が存在しない組織（血液、筋肉、肺など）にレンサ球菌が侵入してしまうと、急激に重篤な症状を引き起こすことがあります。

東京都の劇症型溶血性レンサ球菌感染症  
報告数推移



東京都感染症情報センターHPより引用

### 感染経路

主な感染経路は飛沫感染や接触感染のほかに、傷口からの感染があります。

### 症状

初期症状としては、発熱や悪寒など風邪のような症状や、四肢の痛みや腫れ、傷口の周りが赤くなるなどが見られます。病状の進行がとても急激で、組織の壊死や血圧低下を引き起こし、数十時間で死に至ることもあります。

### 予防するには

- ・手洗い・うがいやマスクの着用などの一般的な感染対策をしっかりと行いましょう。
- ・傷口はよく洗い、清潔に保ちましょう。



手足の痛みや腫れ、発熱など感染の兆しがある場合には医療機関を受診しましょう。